



「京都丹波 まな Viva!」は、学校と先生を応援する南丹教育局の学びのニュースです。

市町教育委員会との連携事業「授業実践講座」を開催しました！

今年度の授業実践講座は、小・中・義務教育学校「算数・数学」「社会」の2教科で、全3回シリーズで開催しています。受講者はキャリアステージ1・2(1～15年目)の先生方を中心とし、ベテランの先生方も参加されています。受講者の代表であるコアメンバー(各教科6名ずつ)が、「児童生徒に付けたい資質・能力」や「教科の見方・考え方」、「単元計画」などについて協議を重ね、授業をつくり上げてきました。第2回講座でその授業を公開しましたので紹介します。

1

授業実践講座 小中学校社会 授業実践：亀岡市立曾我部小学校 渋谷 祐人 教諭

① 授業実践の紹介 第5学年 「わたしたちの生活と工業生産」

【コア会議 全4回】

- 児童が「やってみよう」と思える単元を貫く問い
- ゴールを見通した単元計画
- 社会的な見方・考え方

○本単元で付ける力は何だろう。

○調べ学習はどんな方法がある？

- ・発達段階でも方法は違う。
- ・個人で調べた後、同じことを調べた者同士でグループ活動をする。
- ・ジグソー学習の形態をとることもある。
- ・一人で調べてもいいし、グループで調べてもよいなど、選択できるようにする。

○本時について検討

- ・運輸の方法が変わったのは、個人目的の利用が増えたから。そこを導入にしてもいいのでは？
- ・どの運輸方法がいい？と問うてみるのはどうか。メリット・デメリットとどう関連させるか。
- ・授業でグループで対話するために、宿題に出して、じっくり個人で考えさせておくのはどうか。
- ・調べるための資料はどんなものがある？
- ・輸送シミュレーションの方が本時のメインでは？
- ・これだけのことを考えるには「1・2時間目を貫く」のはどうか。
- ・自分ごととして考えることが大事。

【単元計画】(全6時間)

- 1 工業製品はどのように私たちの元へ届けられるのか、単元を貫く問いを設定する。
- 2 交通機関の特色を生かした運輸の働き。(本時)
- 3 日本の輸出の特色
- 4 日本の輸入の特色
- 5 再生エネルギーの開発
- 6 日本の工業生産にとって重要な役割を果たす運輸や貿易



② 研究協議

【授業から学んだこと】

- ・単元を貫く問いを教師がしっかり持つことで、授業の方向性が明確になる。
- ・身近な題材を使うと、児童全員が学びの土台に乗れる。
- ・グループ活動で積極的な話し合いが行われ、安心して発言できていた。
- ・シミュレーションで鮮度や安全面など価値の価値の比較を通して、自分事として捉えられていた。

【単元を貫く問い】

単元を貫く問いは、単元全体を通して児童に身に付けさせたい力を明確化する核になります。

社会科はたくさんの資料や事例を扱いますが、その際に学習内容がばらばらにならず、一貫したテーマで結び付けることができるだけでなく、「なぜそれを学ぶのか」が明確になります。

小学校でどのような学びを経て中学校に入学してきているのか、中学校は、この学びをどのようにつなげていくのかを確かめ合うことができました。



① 授業実践の紹介 第2学年「図形の性質と合同」

【コア会議
全5回】

- 小中の学びのつながりを意識した授業づくり
- 生徒自身の学びの再認識と課題解決への意欲
- 数学的な見方・考え方

「図形の性質と合同」の単元で授業作りをしようと思う。小学校ではどのような学びをしてきているのか。

小学校では、コンパスや分度器を使って、作図の仕方を学んでいるが、条件までは学ばない。

小学校での学びを生徒に思い出させたい。一方的に教師が説明しても「自分事」にならない。どうすれば…？

例えば、小学生の疑問を動画にして、中学生に投げかけることはできないか。

小学生にとっても、自分の学びを振り返り、今後の学びへの意欲を高める機会になるかもしれない。

中学生も小学生に説明するなら、理解を深める必要がある。分かりやすく説明する力も必要。

【単元計画】(全12時間)

- 1 対頂角、同位角と錯覚の位置を見分ける。
- 2 平行線と同位角、錯覚の性質を使い、角度を求める。
- 3 補助線を使って角度を求める。
- 4 三角形の内角、外角の性質を理解する。
- 5 様々な図形の角度を求める。
- 6 多角形の内角の和を求める。
- 7 多角形の外角の和を求める
- 8 合同な図形の性質を使い長さや角度を求める。
- 9 **合同条件について知り、合同な三角形を発見する。(本時)**
- 10 証明の手順を理解する。
- 11 簡単な図形について証明をする。
- 12 知識を応用し証明をする。

本時(9/12)

三角形の合同条件を理解し、それを説明する。



小学生からの質問動画、みんなはどう説明する？



【グループで】

分かりやすく説明するにはどうしたらよいか…

条件は少ない方がいいから…

2つの角は両端でないといけないんじゃない？

「小学校では、この単元が今後どのように生かされるのか…」

「中学校では、この単元をどのように学んできたのか…」

ということ意識することが算数・数学の系統性につながり、児童生徒の深い学びになります。

② 研究協議



公開授業に基づく授業研究会では、「小中のつながり」を大切にしたい授業について協議しました。小学生からの動画で課題が提示されたことによって、生徒のこれまでの学びの過程の想起となったこと、小学生に説明するという切実性が学習意欲につながったことなど、意見がでました。

実践交流では、板書記録やワークシート、写真等を見せ合いながら、交流しました。

今回の講座を受け、「単元計画や学びの連続性を大切にしたい授業づくり」「何をねらいどう活動するのか、教師のコーディネート力」「小中での学びの系統性」について学び合うことができました。



第3回は令和8年1月26日(月)に行います。受講者それぞれが実践した授業をもとに交流する予定です。